

## 5. 外国語の履修について

外国語の履修にあたり、各学部の必要単位数と履修の要件（各学部の指示事項、学部便覧等）を確認した上で、後述の指示に従い科目を選択してください。なお、各制限事項に反する予備登録・先着順申込（以下、「事前申込」）、履修登録は全て無効であり、単位の認定もされないので注意してください。

### (1) 全ての外国語についての注意事項

- ① 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が、外国語科目を履修し、単位を修得した場合には、各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として算入されます。各科目の単位数は「Ⅱ. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.99～)を参照してください。
- ② 初修外国語の初級の履修にあたっては、原則として以下の通り履修しなければなりません。
  1. イタリア語及び日本語以外は前・後期それぞれに同一言語の 2 クラス（文法、演習）を履修すること。
  2. イタリア語は通年週 2 回セットのクラスを履修すること。
  3. 日本語はプレースメントテストの結果に従い、履修クラスを選択すること。
- ③ 入学時に初修外国語初級免除申請（国際高等教育院 HP (<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/freshman-guide/language/remission>) を参照) の手続きにより中級からの履修を認められた学生は、本学で初級の単位を修得することなく中級以上の科目を履修することができます。この場合、学部 1 回生時は上級回生に配当されている科目を履修することになるため特別履修の手続きを経て履修してください。学部 2 回生以降は通常の事前申込を行ってください。なお、初修外国語初級免除は初級の単位数が免除されるのではなく、卒業に必要な単位数を中級以上で修得しなければなりません。
- ④ 入学時に認定された既修得単位で外国語の中級以上の科目を履修するための要件を充足した学生が、学部 1 回生時に当該外国語の中級以上の科目の履修を希望する場合は、前期は 4 月 16 日（火）、後期は 10 月 9 日（水）のそれぞれ 13:00 までに全学共通科目学生窓口まで相談に来てください。学部 2 回生以降は通常の事前申込を行ってください。
- ⑤ 通常、同じ科目名の科目を 2 つ以上修得した場合は、修得年度・修得期の早いもの 1 つしか卒業に必要な単位として認められません。また、1 週間のうちに複数開講されている科目は同一開講期に 1 つしか履修登録できません。しかし、次の外国語科目は例外として複数履修することが可能です。一開講期に履修できるクラス数の上限は、各外国語のページを参照してください。

[英語リーディング]

[ドイツ語ⅡA・ⅡB、ⅡA（会話）・ⅡB（会話）、ⅡA（CALL）・ⅡB（CALL）、ⅡA（ライティング）・ⅡB（ライティング）、ⅢA・ⅢB]

[フランス語ⅡA・ⅡB、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）、ⅢA・ⅢB]

[中国語ⅡA・ⅡB]

[ロシア語ⅡA・ⅡB]

[イタリア語ⅡA・ⅡB、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）]

[スペイン語ⅡA・ⅡB、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）]

[朝鮮語ⅡA・ⅡB、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）]

[アラビア語ⅡA・ⅡB、ⅡA（演習）・ⅡB（演習）]

ただし、同一テキストまたは同一教員が同じ内容で授業を行う科目の重複履修はできません。重複履修不可クラスは、各外国語のページを参照してください。

- ⑥ 原則として、外国語科目名の A は前期、B は後期を意味しています。修得できなかった中級以上の初修外国語を履修登録する際に、開講期を揃える必要はありません（例：修得できなかった「ドイツ語ⅡB」分の単位を翌年度の「ドイツ語ⅡA」で修得することができます）。英語リーディングは開講期の区別がありませんので、修得できなかった「英語リーディング」分の単位を翌期に開講される「英語リーディング 単位未修得者クラス」で修得することができます。
- ⑦ 事前申込を要する科目は、予備登録期間に履修を希望するクラスを申し込む必要があります。予備登録期間終了後、定員に空きがあるクラスは先着順で申し込みを受け付けます。（p.47 参照）。
- ⑧ 日本語を母語としない外国人留学生は、母語である言語を外国語として履修することが原則としてできません。ただし、学部により取り扱いが異なりますので、各学部の便覧等を確認してください。

## (2) 学部 1 回生の履修クラスについて

- ① 入学予定者サイトで英語、ドイツ語、フランス語、中国語またはスペイン語を選択した場合には履修クラスを指定します。KULASIS の履修登録ページで確認の上、指定されたクラスを履修してください。ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語を選択した場合は、各自で開講されているクラスの中から選んで履修してください。日本語を選択した場合は、指示に従って履修してください (p.60~参照)。
- ② 「英語ライティングーリスニング A 上級」、「英語ライティングーリスニング B 上級」、「ドイツ語 I (6H コース)」、「フランス語 I (8H コース)」は、自由選択制です。ただし、「英語ライティングーリスニング A 上級」、「英語ライティングーリスニング B 上級」の履修にあたっては要件があります。「ドイツ語 I (6H コース)」、「フランス語 I (8H コース)」は通年科目ですので、履修登録した場合(履修取消した場合を除く)、後期に IB (文法)、IB (演習) の履修クラスを指定しません。
- ③ 学部 1 回生の外国語は全て第 1 回目の授業時間に教室に集合してください(履修クラスが指定されている場合は教科書持参のこと)。履修クラスが指定されていない科目は、履修希望学生が多数の場合に急きょ人数制限を行うことがあります。  
英語のクラス編成は、リーディングとライティングーリスニングとで異なりますので、KULASIS [4 月 2 日 (火) 発表] で各自確認してください。
- ④ 前期に「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニング A」・「ドイツ語 I A」・「フランス語 I A」・「中国語 I A」・「スペイン語 I A」を履修し単位が認定されなかった場合、後期開講の「英語リーディング単位未修得者クラス」・「英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラス」・「ドイツ語 I A 再履修クラス」・「フランス語 I A 再履修クラス」・「中国語 I A 再履修クラス」・「スペイン語 I A 再履修クラス」をそれぞれ履修することにより、当該科目の単位を同一年度に補うことができます。これらは事前申込が必要です。事前申込についての詳細は、「(3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込]」を参照してください。ただし、学部 1 回生が KULASIS の外国語予備登録ページにアクセスできるのは後期のみで、前期に「英語リーディング」・「英語ライティングーリスニング A」・「ドイツ語 I A」・「フランス語 I A」・「中国語 I A」・「スペイン語 I A」を履修し単位が認定されなかった場合に限りです。
- ⑤ 入学予定者サイトで選択した外国語の変更を希望する場合、また 3 か国語以上の外国語の履修を希望する場合は、前期は 4 月 16 日 (火) 13:00 までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。  
後期から英語、ドイツ語またはフランス語への変更または 3 か国語以上の外国語として新規履修を希望する場合は、各自で予備登録してください( (3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込] 参照)。ただし、後期に外国語予備登録ページにアクセスできるのは上記④のただし書きの場合に限られますので、該当しない場合は速やかに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。10 月 9 日 (水) 13:00 まで申し出を受け付けますが、既に定員を充足している場合は履修できません。  
後期から日本語の履修を希望する場合は、指示に従って履修してください (p.60~参照)。  
なお、中国語、ロシア語、イタリア語及びスペイン語は後期からの新規履修を認めていません。

## (3) 学部 2 回生以上の履修クラスについて [事前申込] (一部、学部 1 回生後期を含む)

各外国語とも全て自由選択制となっていますが、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語については、事前申込が必要です。授業開始日前に申し込みの受付が始まりますので、申込期間に注意してください。外国語予備登録ページは予備登録開始日の約 1 週間前から KULASIS に表示されます。

また、外国語予備登録等に関してよくある質問をまとめた「外国語予備登録 Q&A」を国際高等教育院 HP の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内に掲載していますので、参考にしてください。

日本語については p.60~ の指示に従って履修してください。その他の外国語については事前申込は不要ですが、履修希望者多数の際は人数制限を行うことがあります。掲示による指示がある場合はそれに従い、ない場合は必ず第 1 回目の授業に出席してください。

### 《英語単位未修得者クラス、初修外国語中級等・再履修クラス等(ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語)の事前申込について》

予備登録等事前申込は、KULASIS から行います。申込者数が定員を超えたクラスは抽選を行います。第 1 回目の抽選に漏れた場合、第 2 回目→第 3 回目→第 4 回目の申し込みができます。4 回とも抽選に参加し、落選した場合は、定員に空きがあるクラスに先着順で申し込むことができます。

なお、予備登録等が必要な通年クラスには前期に申し込むため、後期の予備登録等は必要ありません。

予備登録の手順	1 回の申込につき各カテゴリー毎に 1 クラスを申し込んでください。外国語によって再履修クラスの有無や、クラス定員や登録可能クラス数の上限が異なるので、詳細は各外国語の予備登録上の注意事項を確認してから申し込んでください。1 カテゴリーにつき 2 科目以上の申し込みをする場合は、まず、1 科目のクラスが決定してから、2 回目の申込日以降に 2 科目めの申し込みを行ってください。	
申込方法	予備登録ページ上で、希望クラスを申し込んでください。問題が生じた場合は、全学共通科目学生窓口で相談してください。	
予備登録ページオープン	【前期】3月15日(金)	【後期】9月11日(水)
1) 第1回申込日	【前期】4月1日(月) 8:00~18:00	【後期】9月24日(火) 8:00~18:00
抽選・結果発表	抽選終了後、結果をメールで送信します。結果は KULASIS でも確認できます。落選した場合、及び同一カテゴリーの 2 科目めを申し込む場合は、第 1 回目と同じ方法で以下に従って第 2 回以降に申し込んでください。	
2) 第2回申込日	【前期】4月2日(火) 8:00~18:00	【後期】9月25日(水) 8:00~18:00
抽選・結果発表	【前期】4月2日(火) 申込締め切り後	【後期】9月25日(水) 申込締め切り後
3) 第3回申込日	【前期】4月3日(水) 8:00~18:00	【後期】9月26日(木) 8:00~18:00
抽選・結果発表	【前期】4月3日(水) 申込締め切り後	【後期】9月26日(木) 申込締め切り後
4) 第4回申込日	【前期】4月4日(木) 8:00~18:00	【後期】9月27日(金) 8:00~18:00
抽選・結果発表	【前期】4月4日(木) 申込締め切り後	【後期】9月27日(金) 申込締め切り後
先着順申込受付期間 1	【前期】4月6日(土) 7:00 ~ 16日(火) 13:00	【後期】10月1日(火) 7:00 ~ 9日(水) 13:00
	4 回の抽選後、KULASIS の履修登録候補科目設定画面に予備登録された科目が表示されます。定員に空きがあるクラスについては、この期間に先着順で申し込みを受け付けます。 なお、予備登録が必要なドイツ語、フランス語、中国語またはスペイン語のクラスの履修を希望する大学院生はこの期間に申し込んでください。	
履修登録期間	【前期】4月15日(月)・16日(火)	【後期】10月8日(火)・9日(水)
	KULASIS の履修登録候補科目設定画面に、先着順申込で履修が許可された科目が表示されます。予備登録・先着順申込ではまだ履修登録は終わっていません。履修登録期間に必ず確定してください。	
先着順申込受付期間 2	【前期】4月19日(金) 7:00 ~ 22日(月) 13:00	【後期】10月12日(土) 7:00 ~ 16日(水) 13:00
	履修登録しなかった学生がいた等、定員に空きが生じたクラスには、この期間に先着順で申し込みを受け付けます。	
履修登録・確認修正期間	【前期】4月19日(金) ~ 22日(月)	【後期】10月12日(土) ~ 16日(水)
	先着順申込受付期間 2 に履修が許可された科目が履修登録候補科目設定画面に表示されます。先着順申込ではまだ履修登録は終わっていません。履修登録確認・修正期間に必ず確定してください。	

※日程は変更されることがありますので、外国語予備登録ページ (KULASIS) で最新情報を確認してください。

#### (4) CALL について

CALL (コール) とは Computer-Assisted Language Learning の略で、コンピュータを使った外国語学習です。CALL の様式としては、コンピュータを LAN やインターネットなどのネットワークにつないで端末として使う場合と、ネットワークにつながりず単体として使う場合があります。いずれの場合も、CALL 用に開発した特定の教材を使用する場合と、そうでない場合があります。ネットワークを使う場合は、メールやチャットのような機能を利用することもあり、外国語学習のために作られたウェブサイト (学習サイト) を利用することもあります。また、場所に関しては、曜日・時限・教室という時空間の制限内で行う「教室あり CALL」もありますが、コンピュータさえあればいつでも、どこでも、学習者の都合に合わせて「自律学習」を行う「教室なし CALL」もあります。

自律学習型 CALL では、学習者が時間を自由に使うことができるという点が強みです。外国語の学習には、目標言語に浸り、その言語を使って自分で作業している時間が決め手になる側面がいくつかあります。そういう側面に関しては、限られた時空間の制限内で行う伝統的な授業よりは、自律学習型 CALL のほうが有利なことがあります。

本学の外国語でどのような種類の CALL を行うかは、言語・担当者・クラスなどによって異なります。言語やクラスに

よっては、教室あり CALL と教室なし CALL を併用する場合や、教室あり CALL に限定する場合があります。

自習用のコンピュータは、学術情報メディアセンター（南館）1階などにあります。

なお、CALL は Learning であり、あえて Teaching と呼んでいません。主役は、教える教師ではなく、学ぶ学生であるからです。CALL では、特に自ら作業することによって学ぶことを心がけてください。

## (5) 各外国語科目の説明と履修上の注意事項

### A. 英語の科目編成

英語は大別して、リーディングクラスとライティングーリスニングクラスの二つの区分があり、それぞれを履修しなければなりません。前者は、学部の履修方針に応じた学術的な文献やまとまった長さを持つ洋書などのアカデミックリーディングを通じ、英語による学術的教養の涵養を目標としています。後者は、エッセイやレポートなどのアカデミックライティングを通じ、学術的言語技能を養うことを目標としています。また、オンラインによるアカデミックリスニング課題に取り組むことにより、英語による講義の聴講を念頭に置いた聴解力の育成を目指します。いずれのクラスも、大学の英語科目としてふさわしい内容とレベルを考慮しています。

ライティングーリスニングクラスについては、上級者用クラス（「英語ライティングーリスニング A 上級」、「英語ライティングーリスニング B 上級」）を開講します。これらのクラスは自由選択制であり、申請し認められれば、指定クラスの代わりに履修することができます。

平成 30 年度をもって平成 27 年度以前学部入学者対象の英語 II は廃止されました。平成 27 年度以前学部入学者で卒業に必要な英語 I・II の単位を充足していない場合は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修してください。平成 27 年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティングーリスニング A・B を履修することはできません。

## ◆ 英 語 ◆

### 《英語》〔E〕（平成 28 年度以降学部入学者対象）

※事前申込は p.47～参照

科目名	符 号	開講期	単位	対象回生	定員	事前 申込	備 考	
英語リーディング	ER	前期	2	1 のみ	約 40	要	学部 1 回生専用クラス・アカデミックリーディング	
		後期	2	1 のみ	約 40			
	ESR	前期	2	2 以上	約 60	要	単位未修得者クラス	
		後期	2	1 以上	約 60			
英語ライティングーリスニング A	EWLA	前期	2	1 のみ	約 20	別途 申込 期間 を設 ける	学部 1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング	
		前期	2	1 のみ	約 25			
	ESWLA	前期	2	2 以上	約 50	要	単位未修得者クラス	
		後期	2	1 以上	約 50			
	英語ライティングーリスニング B	EWLB	後期	2	1 のみ	約 20	別途 申込 期間 を設 ける	学部 1 回生専用クラス・アカデミックライティング&リスニング
			後期	2	1 のみ	約 25		
ESWLB		前期	2	2 以上	約 50	要	単位未修得者クラス	
		後期	2	2 以上	約 50			

#### 【履修上の注意】

◇ 英語は全て半期科目で、各 2 単位です。アカデミックリーディングの英語リーディング（ER）と、アカデミックライティング&アカデミックリスニングの英語ライティングーリスニング（EWLA 及び EWLB）に区分されています。

◇ 学部 1 回生は開講期ごとに、英語リーディングと英語ライティングーリスニングを両方履修してください。

◇ 4 月 13 日（土）に実施予定の TOEFL ITP 試験の受験を、学部 1 回生後期以降の英語科目の履修登録の要件としていま

す。英語選択者は必ず受験してください。

◇12月7日(土)に実施予定の TOEFL ITP 試験の成績を、後期開講の英語ライティングーリスニング B の成績評価の一部として利用します。詳細はシラバスで確認してください。

◇英語ライティングーリスニング B 単位未修得者クラスにおいても、成績評価の一部として学部1回生時の後期に受験した TOEFL ITP 試験の成績を利用します。なお、希望すれば改めて TOEFL ITP 試験を受験し、その成績を成績評価の一部として利用することができます。ただし、その受験料(約4,000円)は、履修者の負担とします。

◇英語ライティングーリスニング A・B では、以下の(1)~(3)のいずれかの判断基準を満たす学生を対象に上級クラスを開講します。履修可否を判断するにあたって初回授業の履修姿勢を考慮することがありますので、履修希望者は原則、初回授業を受講してください。履修希望者多数の際は履修(人数)制限を行います。

- 1) TOEFL iBT のスコアが 80 以上の学生、もしくは IELTS のスコアが 6.0 以上の学生
- 2) 学部1回生の4月に一斉受験する TOEFL ITP で 600 点以上のスコアがあった学生(「英語ライティングーリスニング B 上級」履修の場合に限る)
- 3) 英語を日常的に使用する環境(外国の学校、インターナショナルスクールなど)で教育を受けた学生のうち、国際高等教育院で実施する資格審査に合格した学生

申請期間や申請方法、オンラインリスニング課題の取り扱い、成績評価方法などの詳細については、ガイダンスやリスニングオフィスアワーにおいて説明します。詳細は前期は4月初旬、後期は9月下旬に掲示します。

◇学部1回生専用英語リーディング及び英語ライティングーリスニングは事前申込が不要ですが、単位未修得者クラスは事前申込が必要です。

予備登録等については、国際高等教育院 HP (<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>) の「在学生・学内の方へ」の Q&A 内から「外国語予備登録 Q&A」も確認してください。

◇英語リーディングの単位が不足している場合は、開講期に関係なく単位未修得者クラスを履修してください。例えば、前期開講の英語リーディングの単位を、後期開講の英語リーディング単位未修得者クラスの単位で補うことが可能です。

◇前・後期にかかわらず、英語リーディング単位未修得者クラス、英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラスと英語ライティングーリスニング B 単位未修得者クラスが開講されますが、一開講期に履修できる単位未修得者クラスは、原則英語リーディングが1クラス、英語ライティングーリスニング A または B から1クラスです。なお、この場合も英語ライティングーリスニングは A を先に履修することを推奨します。ただし、その開講期終了時の卒業や進級・コース分属などのため、当該期に英語リーディング単位未修得者クラスを2クラス、または英語ライティングーリスニング A および B 単位未修得者クラスの履修を希望する学生は、前期は4月22日(月)、後期は10月16日(水)のそれぞれ13:00までに全学共通科目学生窓口申し出てください。1クラス目は各自で事前申込をしてください。

◇学部1回生の後期開始段階で英語リーディングまたは英語ライティングーリスニング A の単位を修得していない場合は、学部1回生の後期に対応する単位未修得者クラスを履修し、不足単位を補うことができます。ただし、英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラスと英語ライティングーリスニング B の並行履修は推奨しません。前期に英語ライティングーリスニング A の単位を修得していない学生は、後期に英語ライティングーリスニング A 単位未修得者クラスのみを履修することを推奨します。

◇英語リーディングまたは英語ライティングーリスニング A・B に相当する既修得単位がある学生が、残りの英語の不足単位分を修得する場合は、英語リーディングまたは英語ライティングーリスニング A・B を履修するのが原則です。

◇大学院生は、英語を履修することができません。

◇工学部地球工学科国際コースに所属する学生と工学部地球工学科に所属する Kyoto iUP 生は、次のクラス指定されている英語を履修してください。

科目名	開講期	単位※	対象回生	事前申込	備考
Scientific English I A (Reading and Writing)	通年	4	1 以上	/	工学部地球工学科国際コース1回生、工学部地球工学科 Kyoto iUP 生クラス指定科目
Scientific English I B (Technical Communication & Discussions)	通年	4			

※平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として参入されます。

## B. 初修外国語の科目編成

### ①学部1回生の授業（初級）

初級の授業（イタリア語及び日本語を除く）は、「文法」と「演習」からなり、それぞれ相互に補いながら行われます（〇〇語 I A（文法）・I B（文法）・I A（演習）・I B（演習）で8単位修得することが標準）。また、この標準的なコースの他に、インテンシブ・コースなどがある外国語もあります。学部1回生向けの授業は、当該言語の基本的構造や表現を学ぶことで、その言語圏の文化に触れるとともに、学術的言語技能の基礎を養うことを目標としています。

### ②学部2回生以上の授業（中級・上級）

中級では、「精読」「作文」「会話」「聴き取り」などを通じて言語技能を向上させると同時に、その言語共同体の文化や思考方法を理解するための授業が行われます。中級の授業は、初級の授業で身につけた基礎的言語技能を充実させ、学術的言語技能の涵養に資することを目標としています。

上級の授業では、高度な内容の文章を読むこと、書くこと、口頭で発表することなどが行われます。上級では、中級で身につけた言語技能をさらに発展させ、学術的言語技能の修得を目標としています。

#### ※ 初修外国語（中級・上級）履修上の例外措置について（ドイツ語・フランス語・中国語）

初修外国語（中級・上級）については、原則として、一開講期に2クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生で、一開講期に3クラス以上履修することにより、その開講期終了時の卒業が期待できる場合は、「一開講期に2クラス以内」という制限を緩和する例外措置をとることがあります。修得済み単位数が卒業に必要な単位数（ただし、卒業論文などの必修科目の単位数の関係で90%超の要件を満たすことが不可能な場合は、その必修科目の単位数を除く）の90%を超えていることを証明できる成績表（の写し）などを持参のうえ、前期は4月22日（月）、後期は10月16日（水）のそれぞれ13:00までに全学共通科目学生窓口へ申し出てください。2クラスは各自で事前申込をしてください。

この例外措置は、ドイツ語、フランス語、中国語に限り適用されます。

#### ※ 大学院生の初修外国語の履修について

大学院生が事前申込が必要なドイツ語、フランス語、中国語又はスペイン語のクラスの履修を希望する場合は、定員に空きがあるクラスについて、先着順申込受付期間1、2の期間中に、申し込みをしてください。ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語のクラスの履修を希望する場合は、担当教員の許可を得たうえで、履修登録してください。

◆ ドイツ語 ◆

《ドイツ語Ⅰ（初級）》〔D1〕 ※事前申込は p.47～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象 回生	事前 申込	備 考
ドイツ語ⅠA（文法）	D11A	前期	2	1 以上	学部2回 生以上は要	学部1回生向けクラス指定
ドイツ語ⅠA（演習）	D12A	〃	2			
ドイツ語Ⅰ（6Hコース）	D15	通年	12	1 以上		
ドイツ語ⅠA（文法） 再履修クラス	D11A	前期	2	2 以上	要	集中クラス（CALL）あり。集中クラスはIBま たはIの履修歴のある学生に限る。
ドイツ語ⅠA（演習） 再履修クラス	D12A	〃	2			
ドイツ語ⅠB（文法） 再履修クラス	D11B	〃	2			
ドイツ語ⅠB（演習） 再履修クラス	D12B	〃	2			
ドイツ語ⅠB（文法）	D11B	後期	2	1 以上	学部2回 生以上は要	学部1回生向けクラス指定
ドイツ語ⅠB（演習）	D12B	〃	2			
ドイツ語ⅠA（文法） 再履修クラス	D11A	〃	2	1 以上	要	集中クラス（CALL）あり。集中クラスはIAま たはIの履修歴のある学生に限る。
ドイツ語ⅠA（演習） 再履修クラス	D12A	〃	2			
ドイツ語ⅠB（文法） 再履修クラス	D11B	〃	2			
ドイツ語ⅠB（演習） 再履修クラス	D12B	〃	2			

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。学部2回生以上の新規履修者は、学部1回生向け指定クラスのいずれかを選び履修してください。ただし、（文法）と（演習）の双方が必要な場合は同一クラスで履修してください。1クラスのみ履修希望の場合は（文法）を履修してください。IA・IBを通して同じクラスで履修することが望まれます。
- ◇後期から新たにドイツ語を履修する学生は、ドイツ語ⅠA再履修クラスを履修してください。なお、集中クラス（CALL）は、再履修者に限るため履修できません。
- ◇（6Hコース）は（文法）と（演習）の代わりに履修することができます。
- ◇<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>・<上級>の単位を<初級>に替えることはできません。
- ◇平成21年度まで開講のドイツ語Ⅰ（文法）の再履修者はドイツ語ⅠA・ⅠB（文法）の再履修クラスを、ドイツ語Ⅰ（実習）の再履修者はドイツ語ⅠA・ⅠB（演習）の再履修クラスを履修してください。
- ◇平成27年度まで開講のドイツ語ⅠA（実習）の再履修者はドイツ語ⅠA（演習）再履修クラスを、ドイツ語ⅠB（実習）の再履修者はドイツ語ⅠB（演習）再履修クラスを履修してください。

《ドイツ語Ⅱ（中級）》〔D2〕・《ドイツ語Ⅲ（上級）》〔D3〕 ※事前申込は p.47～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象 回生	事前 申込	備 考
ドイツ語ⅡA	D21A	前期	2	2 以上	要	中級
ドイツ語ⅡA（会話）	D22A	〃	2			
ドイツ語ⅡA（CALL）	D23A	〃	2			
ドイツ語ⅡA（ライティング）	D24A	〃	2			
ドイツ語Ⅱ（6Hコース）	D25	通年	12	2 以上	要	中級
ドイツ語ⅡB	D21B	後期	2	2 以上	要	中級
ドイツ語ⅡB（会話）	D22B	〃	2			
ドイツ語ⅡB（CALL）	D23B	〃	2			
ドイツ語ⅡB（ライティング）	D24B	〃	2			
ドイツ語ⅢA	D3A	前期	2	2 以上	要	上級
ドイツ語ⅢB	D3B	後期	2			

【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4単位以上、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。<初級>の単位について、文法と実習（演習）の別は問いませんが、ドイツ語ⅠAとⅠBの組み合わせ（または平成21年度までのドイツ語Ⅰ）で修得していることが望まれます。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。

◇一開講期に2クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります (p.51 参照)。

◇<上級>は<中級>までの単位を修得した学生のための科目ですが、<中級>の代わりに履修することもできます。

◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	火1	ドイツ語ⅡA	D2106	谷口 栄一
	前期	木5	ドイツ語ⅡA	D2112	南 剛
2	前期	水5	ドイツ語ⅡA	D2110	松波 烈
	前期	木3	ドイツ語ⅡA	D2111	奥田 敏広
3	後期	水5	ドイツ語ⅡB	D2160	松波 烈
	後期	木3	ドイツ語ⅡB	D2161	奥田 敏広

## ◆ フランス語 ◆

### 《フランス語Ⅰ(初級)》[F1] ※事前申込は p.47~参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
フランス語ⅠA(文法)	F11A	前期	2	1以上	学部2回生以上は要	学部1回生向けクラス指定
フランス語ⅠA(演習)	F12A	//	2			
フランス語Ⅰ(8Hコース)	F13	通年	16	1以上		
フランス語ⅠB(文法)・再履修クラス	F11B	前期	2	2以上	要	文法は集中クラス(CALL)あり。集中クラスはⅠBまたはⅠの履修履歴のある者に限る。
フランス語ⅠB(演習)・再履修クラス	F12B	//	2			
フランス語ⅠB(文法)	F11B	後期	2	1以上	学部2回生以上は要	学部1回生向けクラス指定
フランス語ⅠB(演習)	F12B	//	2			
フランス語ⅠA(文法)・再履修クラス	F11A	後期	2	1以上	要	文法は集中クラス(CALL)あり。集中クラスはⅠAまたはⅠの履修履歴のある者に限る。
フランス語ⅠA(演習)・再履修クラス	F12A	//	2			

#### 【履修上の注意】

◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。再履修者で前期にⅠA、後期にⅠBの履修を希望する学生は、学部1回生向け指定クラスのいずれかを選び、履修してください。

◇学部2回生以上の新規履修者は、学部1回生向け指定クラスのいずれかを選び、履修してください。ただし、必ず同一クラスの(文法)と(演習)を並行して履修してください。ⅠA・ⅠBを通して同じクラスで履修することが望まれます。

◇後期から新たにフランス語を履修する学生は、フランス語ⅠA再履修クラスを履修してください。なお、文法の集中クラスは、再履修者に限るため履修できません。

◇<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>・<上級>の単位で、<初級>に替えることはできません。

◇平成20年度まで開講のフランス語Ⅰ(文法)の再履修者はフランス語ⅠA・ⅠB(文法)の再履修クラスを、フランス語Ⅰ(実習)の再履修者はフランス語ⅠA・ⅠB(演習)の再履修クラスを履修してください。

◇平成27年度まで開講のフランス語ⅠA(実習)の再履修者はフランス語ⅠA(演習)の再履修クラスを、フランス語ⅠB(実習)の再履修者はフランス語ⅠB(演習)の再履修クラスを履修してください。

◇(8Hコース)はクラス指定の(文法)と(演習)の代わりに履修することができます。ただし、再履修者を除きます。通年で16単位修得できますが、卒業に必要な単位として認められる単位数は各学部によって異なりますので、注意してください。

### 《フランス語Ⅱ(中級)》[F2]・《フランス語Ⅲ(上級)》[F3] ※事前申込は p.47~参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
フランス語ⅡA	F21A	前期	2	2以上	要	中級
フランス語ⅡA(演習)	F22A	//	2			
フランス語Ⅱ(6Hコース)	F23	通年	12	2以上	要	中級
フランス語ⅡB	F21B	後期	2	2以上	要	中級
フランス語ⅡB(演習)	F22B	//	2			



フランス語ⅢA	F3A	前期	2	2以上	要	上級
フランス語ⅢB	F3B	後期	2			

【履修上の注意】

- ◇平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2 単位以上をそれぞれ修得していること、既修得単位認定されていることを履修の条件とします。<初級>の単位はどのような組み合わせでもかまいません。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。ただし、平成 24 年度以前開講の 2H コースを修得していても、<中級>・<上級>を履修することはできません。
- ◇一開講期に 2 クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります (p.51 参照)。<初級>とは異なり、(演習)とその他のクラスを組み合わせる必要はありません(例：フランス語ⅡAを2クラス履修することができます)。コース別の区分(「運用能力アップコース」は「精読」「聴き取り」「作文」「発音フォローアップ」「文法フォローアップ」などが、「文明理解コース」は「フランス文化」「フランス文学」「政治経済」「マスメディア」などがあります)を参考にして、自分の目的に適したクラスを選択してください。
- ◇ⅡA(演習)・ⅡB(演習)は、平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、計 4 単位まで、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、ⅡA(演習)・ⅡB(演習)の単位数の 2 分の 1 と、平成 28 年度まで開講のⅡA(実習)・ⅡB(実習)の単位数とを合わせて 2 単位までしか卒業に必要な単位として認められません。
- ◇フランス語Ⅱ(6H コース)は、半期科目ではなく通年科目で、これを履修すれば 12 単位が修得できます。卒業に必要な単位として認められる単位数は各学部によって異なりますので、注意してください。
- ◇<上級>は<中級>までの単位を修得した学生のための科目ですが、<中級>の代わりに履修することもできます。
- ◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	火 3	フランス語ⅡA	F2104	中筋 朋
	前期	木 3	フランス語ⅡA	F2108	渡辺 貴規子
2	前期	月 2	フランス語ⅡA	F2102	坂井 礼文
	前期	木 5	フランス語ⅡA	F2109	松井 真之介
3	前期	火 4	フランス語ⅡA	F2105	西本 希呼
	前期	水 2	フランス語ⅡA	F2106	西山 由紀

◆ 中国語 ◆

中国語を母語とする学生が中国語の履修を希望する場合は、中国語研究室(吉田南総合館東南棟 4 階 406 号室)で相談してください。

《中国語Ⅰ(初級)》[C1] 事前申込は p.47~参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
中国語ⅠA(文法)	C11A	前期	2	1以上	学部2回生以上は要	学部1回生向けクラス指定。
中国語ⅠA(演習)	C12A	//	2			
中国語ⅠA(文法)・再履修クラス	C11A	前期集中	2	2以上	要	ⅠAまたはⅠの履修履歴のある学生に限る。集中クラス(CALL)
中国語ⅠA(演習)・再履修クラス	C12A	//	2			
中国語ⅠB(文法)・再履修クラス	C11B	前期	2			
中国語ⅠB(演習)・再履修クラス	C12B	//	2			
中国語ⅠB(文法)	C11B	後期	2	1以上	学部2回生以上は要	学部1回生向けクラス指定。
中国語ⅠB(演習)	C12B	//	2			
中国語ⅠA(文法)・再履修クラス	C11A	後期	2	1以上	要	ⅠAまたはⅠの履修履歴のある学生に限る。集中クラス(CALL)あり。
中国語ⅠA(演習)・再履修クラス	C12A	//	2			
中国語ⅠB(文法)・再履修クラス	C11B	後期集中	2	2以上		
中国語ⅠB(演習)・再履修クラス	C12B	//	2			

【履修上の注意】

- ◇平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇(文法)と(演習)は同一テキストを使用し連携して授業を行うので、どちらか一方だけを履修登録することは原則としてできません。同一クラスの(文法)と(演習)を両方履修してください。

◇中国語初級は後期からの新規履修を認めていません。

◇学部2回生以上の新規履修者は学部1回生向け指定クラスの(文法)と(演習)を両方履修してください。ただし、同一クラスの(文法)と(演習)を並行して履修してください。IA・IBを通して同じクラスで履修することが望まれます。

◇<初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>の単位で、<初級>に替えることはできません。

◇平成20年度まで開講の中国語I(文法)の再履修者は中国語IA・IB(文法)の再履修クラスを、中国語I(実習)の再履修者は中国語IA・IB(演習)の再履修クラスを履修してください。

◇平成27年度まで開講の中国語IA(実習)の再履修者は中国語IA(演習)の再履修クラスを、中国語IB(実習)の再履修者は中国語IB(演習)の再履修クラスを履修してください。

《中国語Ⅱ(中級)》[C2] ※事前申込はp.47~参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
中国語ⅡA [文法・文化理解]	C2A	前期	2	2以上	要	[文法・文化理解]、[会話・ネイティブ実習]はクラス名。[会話・ネイティブ実習]は集中クラス(CALL)あり。
中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C2A	前期	2			
中国語ⅡB [文法・文化理解]	C2B	後期	2	2以上	要	[文法・文化理解]、[会話・ネイティブ実習]はクラス名。[会話・ネイティブ実習]は集中クラス(CALL)あり。
中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C2B	後期	2			

【履修上の注意】

◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

◇平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4単位以上、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2単位以上をそれぞれ修得していること、既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。

◇一開講期に2クラスまで履修することができます。ただし、卒業回生については例外措置を取ることがあります(p.51参照)。

◇原則として、[文法・文化理解]クラスと[会話・ネイティブ実習]クラスから1クラスずつ選択してください。

◇下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科目名	クラス番号	担当教員
1	前期	月2	中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C212	劉 愛群
	前期	月5	中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C214	劉 愛群
	前期	火3	中国語ⅡA [会話・ネイティブ実習]	C215	劉 愛群
2	前期	月3	中国語ⅡA [文法・文化理解]	C201	三橋 佳奈子
	前期	火2	中国語ⅡA [文法・文化理解]	C203	猿渡 留理
3	後期	月2	中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C262	劉 愛群
	後期	月5	中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C264	劉 愛群
	後期	火3	中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C265	劉 愛群
4	後期	月3	中国語ⅡB [文法・文化理解]	C251	三橋 佳奈子
	後期	火2	中国語ⅡB [文法・文化理解]	C253	猿渡 留理
	後期	水3	中国語ⅡB [会話・ネイティブ実習]	C267	柴 礼敏

◆ ロシア語 ◆

《ロシア語Ⅰ(初級)》[R1]

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
ロシア語ⅠA(文法)	R11A	前期	2	1以上	
ロシア語ⅠA(演習)	R12A	〃	2		
ロシア語ⅠB(文法)	R11B	後期	2	1以上	
ロシア語ⅠB(演習)	R12B	〃	2		

【履修上の注意】

◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。

- ◇（文法）と（演習）の両方とも履修してください。なお、履修する順序は、I A からとします。
- ◇後期からの初級の新規履修は認めていません。
- ◇授業は、回生・学部・クラスを問わずに履修可能です。
- ◇緊急で止むを得ない場合（たとえば1つのクラスに1回生だけで50名を超す履修者が来たような場合）には、2回生以上の学生は他の曜日・時限のクラスに移るなどの履修指導を実施する可能性があります。（2）学部1回生の履修クラスについて③（p.47）参照

### 《ロシア語Ⅱ（中級）》〔R2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
ロシア語ⅡA	R2A	前期	2	2以上	
ロシア語ⅡB	R2B	後期	2	2以上	

#### 【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4単位以上、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇一開講期に原則として2クラスまで履修することができます。

## ◆ イタリア語 ◆

### 《イタリア語Ⅰ（初級）》〔I1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
イタリア語Ⅰ（文法）	I1	通年	8	1以上	（文法）、（文法・会話）はクラス名。
イタリア語Ⅰ（文法・会話）	I1	通年	8	1以上	

#### 【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇週2回のセット科目です。2回とも履修してください。
- ◇通年開講のため、後期からの初級の新規履修はできません。
- ◇「イタリア語Ⅰ」は計3クラス（I101, I102, I103）開講されますが、将来「イタリア語ⅡA（I2102）・ⅡB（I2152）」を履修するためには、このうち「イタリア語Ⅰ（文法）I101」を履修しておく必要があります。

### 《イタリア語Ⅱ（中級）》〔I2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
イタリア語ⅡA	I21A	前期	2	2以上	
イタリア語ⅡA（演習）	I22A	〃	2		
イタリア語ⅡB	I21B	後期	2	2以上	
イタリア語ⅡB（演習）	I22B	〃	2		

#### 【履修上の注意】

- ◇平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇平成28年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>8単位以上、平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>4単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。
- ◇一開講期に原則として2クラスまで履修することができます。ただしその場合、少なくとも1クラスは（演習）以外のクラスを選択してください。
- ◇「イタリア語ⅡA」は2クラス（I2101, I2102）開講されますが、「イタリア語ⅡB（I2152）」を履修するためには、このうち「イタリア語ⅡA（I2102）」を履修しておく必要があります。

◆ スペイン語 ◆

《スペイン語Ⅰ（初級）》【S1】 事前申込は p.47～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
スペイン語ⅠA（文法）	S11A	前期	2	1以上	学部2回生以上の「新規＊」履修者は要	学部1回生向けクラス指定 ※「新規」履修者とは、過去に履修登録をしたことがない学生のことをいう。
スペイン語ⅠA（演習）	S12A	〃	2			
スペイン語ⅠA（会話）	S13A	前期集中	2			
スペイン語ⅠA（文法）・再履修クラス	S11A	前期集中	2	2以上	要	集中クラス（CALL）（ⅠAまたはⅠの履修履歴のある学生に限る。） 集中クラス（CALL）（ⅠBまたはⅠの履修履歴のある学生に限る。）
スペイン語ⅠA（演習）・再履修クラス	S12A	〃	2			
スペイン語ⅠB（文法）・再履修クラス	S11B	前期集中	2			
スペイン語ⅠB（演習）・再履修クラス	S12B	〃	2			
スペイン語ⅠB（文法）	S11B	後期	2	1以上	学部2回生以上の「新規＊」履修者は要	学部1回生向けクラス指定 ※「新規」履修者とは、過去に履修登録をしたことがない学生のことをいう。
スペイン語ⅠB（演習）	S12B	〃	2			
スペイン語ⅠB（会話）	S13B	後期集中	2			
スペイン語ⅠA（文法）・再履修クラス	S11A	後期集中	2	1以上	要	集中クラス（CALL）（ⅠAまたはⅠの履修履歴のある学生に限る。） 集中クラス（CALL）（ⅠBまたはⅠの履修履歴のある学生に限る。）
スペイン語ⅠA（演習）・再履修クラス	S12A	〃	2			
スペイン語ⅠB（文法）・再履修クラス	S11B	後期集中	2			
スペイン語ⅠB（演習）・再履修クラス	S12B	〃	2			

【履修上の注意】

- ◇ スペイン語Ⅰについては、次のサイトを教科書として用います。 <https://esp-kyoto-u.com>
- ◇ 平成27年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の2分の1が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ スペイン語初級は後期からの新規履修を認めていません。
- ◇ 原則同一クラスの（文法）と（演習）を両方とも履修してください。
- ◇ 学部2回生以上の新規履修者は、学部1回生向けクラス指定科目を履修してください。ただし、（文法）と（演習）は同一クラスで履修してください。
- ◇ <初級>の再履修者は、<初級>の再履修クラスを履修してください。<中級>の単位で、<初級>に替えることはできません。
- ◇ 再履修者は学部1回生向けクラス指定科目を履修することはできません。
- ◇ 平成22年度まで開講のスペイン語Ⅰ（文法）の再履修者はスペイン語ⅠA・ⅠB（文法）の再履修クラスを、スペイン語Ⅰ（実習）の再履修者はスペイン語ⅠA・ⅠB（演習）の再履修クラスを履修してください。
- ◇ 平成27年度まで開講のスペイン語ⅠA（実習）の再履修者はスペイン語ⅠA（演習）の再履修クラスを、スペイン語ⅠB（実習）の再履修者はスペイン語ⅠB（演習）の再履修クラスを履修してください。
- ◇ （会話）については、スペイン語学習歴がない場合は（文法）と（演習）との並行履修をしてください。また、学部によっては卒業単位として認められないことがあるので、所属学部の規定をよく確認してください。特殊な形態のコースであるため、欠席の扱いも他のコースとは異なります。シラバスを熟読してください。

《スペイン語Ⅱ（中級）》【S2】 ※事前申込は p.47～参照

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	事前申込	備考
スペイン語ⅡA	S21A	前期	2	2以上	要	
スペイン語ⅡA（演習）	S22A	〃	2			
スペイン語ⅡB	S21B	後期	2	2以上	要	
スペイン語ⅡB（演習）	S22B	〃	2			

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇ スペイン語 IB（文法）の単位を修得していること、既修得認定されていること、または入学時に初修外国語初級免除が認定されていることを履修の条件とします。なお、前期にスペイン語 IB（文法）再履修クラスを履修し、単位を修得した場合は、後期から<中級>を履修することが可能です。
- ◇ 一開講期に 2 クラスまで履修することができます。ただしその場合、前期は IIA と IIA（演習）、後期は IIB と IIB（演習）の組み合わせに限定されます。
- ◇ 下表のそれぞれの組合せは、同一テキストで授業を行うクラスのため、重複履修はできません。

組合せ	開講期	曜時限	科 目 名	クラス番号	担当教員
1	前期	火 4	スペイン語 II A	S2101	長縄 祐弥
	前期	水 4	スペイン語 II A	S2102	駒村 幸
	前期	水 5	スペイン語 II A	S2103	駒村 幸
	前期	木 3	スペイン語 II A	S2104	塚原 信行
2	前期	水 3	スペイン語 II A（演習）	S2201	ALVAREZ BARBERO, Jorge
	前期	木 2	スペイン語 II A（演習）	S2202	Aguilar, Milton
	前期	金 4	スペイン語 II A（演習）	S2203	Aguilar, Milton
	前期	金 4	スペイン語 II A（演習）	S2204	REINA OLMEDO, Jose Francisco
3	後期	火 4	スペイン語 II B	S2151	長縄 祐弥
	後期	水 4	スペイン語 II B	S2152	駒村 幸
	後期	水 5	スペイン語 II B	S2153	駒村 幸
	後期	木 3	スペイン語 II B	S2154	塚原 信行
4	後期	水 3	スペイン語 II B（演習）	S2251	ALVAREZ BARBERO, Jorge
	後期	木 2	スペイン語 II B（演習）	S2252	Aguilar, Milton
	後期	金 4	スペイン語 II B（演習）	S2253	Aguilar, Milton
	後期	金 4	スペイン語 II B（演習）	S2254	REINA OLMEDO, Jose Francisco

◆ 朝鮮語 ◆

《朝鮮語Ⅰ（初級）》〔K1〕

科 目 名	符 号	開講期	単 位	対象回生	備 考
朝鮮語ⅠA（文法）	K11A	前期	2	1 以上	
朝鮮語ⅠA（演習）	K12A	〃	2		
朝鮮語ⅠB（文法）	K11B	後期	2	1 以上	
朝鮮語ⅠB（演習）	K12B	〃	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇（文法）と（演習）の両方とも履修してください。

《朝鮮語Ⅱ（中級）》〔K2〕

科 目 名	符 号	開講期	単 位	対象回生	備 考
朝鮮語ⅡA	K21A	前期	2	2 以上	
朝鮮語ⅡA（演習）	K22A	〃	2		
朝鮮語ⅡB	K21B	後期	2	2 以上	
朝鮮語ⅡB（演習）	K22B	〃	2		

【履修上の注意】

- ◇ 平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。

◇平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2 単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。

◇一開講期に原則として 2 クラスまで履修することができます。

## ◆ アラビア語 ◆

### 《アラビア語Ⅰ（初級）》〔A1〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
アラビア語ⅠA（文法）	A11A	前期	2	1 以上	
アラビア語ⅠA（演習）	A12A	//	2		
アラビア語ⅠB（文法）	A11B	後期	2	1 以上	
アラビア語ⅠB（演習）	A12B	//	2		

#### 【履修上の注意】

◇平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。

◇（文法）と（演習）の両方とも履修してください。

◇ⅠB を履修するには、ⅠA を履修していることを条件とします。やむをえずⅠB から履修する場合、事前に担当教員に相談してください。

### 《アラビア語Ⅱ（中級）》〔A2〕

科目名	符号	開講期	単位	対象回生	備考
アラビア語ⅡA	A21A	前期	2	2 以上	講読
アラビア語ⅡA（演習）	A22A	//	2		
アラビア語ⅡB	A21B	後期	2	2 以上	講読
アラビア語ⅡB（演習）	A22B	//	2		

#### 【履修上の注意】

◇平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。

◇平成 28 年度以降の卒業要件が適用される学部生は、<初級>4 単位以上、平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生は、卒業に必要な単位として<初級>2 単位以上をそれぞれ修得していること、または既修得単位認定されていることを履修の条件とします。また、入学時に初修外国語初級免除が認定されている学生も履修を認めます。

◇ⅡB の講読を履修する学生は、ⅡA の講読を修得していることが望まれます。

◇一開講期に原則として 2 クラスまで履修することができます。

## ◆ 日本語 ◆

日本語は、外国人留学生対象のクラスです。次の表は、学部正規生が履修することができる科目です。

科目名	開講期	単位	対象回生	履修条件等
日本語初級 IA (4H コース)	前期	4	1 以上	工学部地球工学科国際コースクラス指定
日本語初級 IB (4H コース)	後期	4		
日本語初級 IIA (4H コース)	前期	4	1 以上	
日本語初級 IIB (4H コース)	後期	4		
日本語中級 IA (4H コース)	前期	4	1 以上	外国人留学生対象
日本語中級 IB (4H コース)	後期	4		
日本語中級 I (8H コース)	前期・後期	8	1 以上	
日本語中級 I (会話)	前期・後期	2		
日本語中級 I (聴解)		2		
日本語中級 I (読解)		2		
日本語中級 I (作文)		2		
日本語中級 I (漢字)		2		
日本語中級 IIA (4H コース)	前期	4	1 以上	
日本語中級 IIB (4H コース)	後期	4		
日本語中級 II (8H コース)	前期・後期	8	1 以上	
日本語中級 II (会話)	前期・後期	2		
日本語中級 II (聴解)		2		
日本語中級 II (読解)		2		
日本語中級 II (作文)		2		
日本語上級 (聴解)	前期・後期	2	1 以上	
日本語上級 (会話)		2		
日本語上級 (読解)		2		
日本語上級 (作文)		2		
日本語上級 (論文・レポート作成)		2		
日本語上級 (講義聴解)		2		
日本語上級 (研究発表)		2		
日本語上級 (討論技術)		2		
経済・経営日本語 (上級) I	前期	2	1 以上	文科系学部外国人留学生対象 定員 20 名
経済・経営日本語 (上級) II	後期	2		
日本語初級 II (6H コース)	前期	6	1 以上	Kyoto University International Undergraduate Program (Kyoto iUP) 専用科目
日本語中級 I (6H コース)	前期・後期	6		
日本語中級 II (6H コース)	前期・後期	6		
日本語上級 (レポート作成基礎)	前期・後期	2		
日本語上級 (文献講読 I)	前期・後期	2		
日本語上級 (文献講読 II)	前期・後期	2		
日本語上級 (文献講読 III)	前期・後期	2		

### 【履修上の注意】

- ◇平成 27 年度以前の卒業要件が適用される学部生が上記科目を履修し、単位を修得した場合には、上記単位数の 2 分の 1 が卒業に必要な単位として算入されます。
- ◇日本語登録手続きの詳細は各開講期の授業開始前に各学部・研究科等を通じて別途お知らせします。  
以下の URL を通しても手続きの案内を行いますので、必ず確認してください。  
<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/introduction/education-center-for-japanese/japanese-language-classes/zenkyo-japanese/>  
履修登録手続きは KULASIS ではできません。「日本語授業登録ページ」にアクセスし、所定の手続きを行ってください。
- ◇日本語初級 II 以上のレベルの科目を履修する場合は、プレースメントテストを受けなければなりません。テスト結果によっては、希望するクラスの履修が認められない場合があります。ただし、自己診断とテスト結果に大きな差があると思われる場合は日本語の履修科目登録相談期間中に日本語コーディネーターと相談することができます。なお、前学期の履修状況・成績によってプレースメントテストを免除することがあります。
- ◇平成 28 年度以前に日本語の単位を修得した学生は、履修科目を決定するにあたって日本語コーディネーターと相談してください。

各学部毎の履修クラスは次のとおりです。

学 部	履 修 ク ラ ス		
	平成 27 年度以前入学者	平成 28 年度入学者	平成 29 年度以降入学者
総合人間学部	日本語中級、日本語上級、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から4単位まで。上級科目を少なくとも2単位含めること。	日本語中級、日本語上級、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から8単位まで。上級科目を少なくとも4単位含めることが望ましい。	日本語上級、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から8単位まで。
教育学部	日本語上級、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から4単位まで。	日本語上級、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から8単位まで。	
経済学部	日本語上級、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から8単位。	日本語上級、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から16単位。	
理学部	日本語中級、日本語上級から4単位以上6単位まで。	日本語中級、日本語上級から12単位まで。	
薬学部	日本語上級から4単位以上。	日本語上級から8単位以上。	
工学部※1 ・農学部	日本語中級、日本語上級から4単位以上。	日本語中級、日本語上級から8単位以上。	日本語上級から8単位以上。※2

※1 工学部地球工学科国際コースの外国人留学生は、国際コース向けに提供される「日本語初級ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」を履修してください。ただし、入学時のプレースメントテストに従い、日本語中級あるいは日本語上級の履修も可能です。中級以上の日本語の履修については、日本語コーディネーターと相談してください。

※2 入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがあります。（物理工学科を除く）

なお、Kyoto iUP 生は所属学部の指示に従い履修をしてください。